

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 6 月 14 日(2024.6.14)

【公開番号】特開 2023-8153(P2023-8153A)
【公開日】令和 5 年 1 月 19 日(2023.1.19)
【年通号数】公開公報(特許)2023-011
【出願番号】特願 2021-111488(P2021-111488)
【国際特許分類】

F 1 6 F 15/133(2006.01)

10

F 1 6 F 15/30(2006.01)

【F I】

F 1 6 F 15/133 Z

F 1 6 F 15/30 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 6 月 6 日(2024.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明のある側面に係る動力伝達装置は、イナーシャリングと、プレートと、複数の第 1 ボルトと、トルク伝達部材と、複数の第 2 ボルトとを備えている。イナーシャリングは、環状である。イナーシャリングは、複数の貫通孔を有する。各貫通孔は、周方向において間隔をあけて配置される。プレートは、軸方向においてイナーシャリングに対して第 1 側に配置される。各第 1 ボルトは、第 1 側から各貫通孔に螺合し、プレートをイナーシャリングに締結する。トルク伝達部材は、軸方向においてイナーシャリングに対して第 2 側に配置される。トルク伝達部材は、イナーシャリングからトルクが伝達される。各第 2 ボルトは、第 2 側から各貫通孔に螺合し、トルク伝達部材をイナーシャリングに締結する。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

詳細には、ダンバ装置 50 は、複数の第 4 貫通孔 54 及び第 5 貫通孔 55 を有している。各第 4 貫通孔 54 は、同一円周上において、互いに間隔をあけて配置されている。各第 4 貫通孔 54 の P・C・D は、各第 2 貫通孔 22 の P・C・D と同じである。すなわち、各第 4 貫通孔 54 の P・C・D は、各第 3 貫通孔 31 の P・C・D と同じである。

40